

海外安全対策情報（第４四半期）

１ 社会・治安情勢

- （１）総じて平穏、安全と言えるが、当国政府の緊縮財政政策等に反発する各種労働組合等のデモやストライキ等は限られた地域において依然として行われており、その動向には一定の注意が必要。特にアテネ中心部（シンタグマ広場やアテネ大学本部前等）では定期的にデモや抗議集会が行われており要注意。
- （２）アテネ市内のエクサルヒア地区では、過激派等が政治関連施設や警戒中の警察に対し、簡易爆弾や火炎瓶等を使用した攻撃を繰り返しており、特に注意が必要。
- （３）特定のアナキストグループが活動を活発化させており、政府関連施設、企業、外交団関連施設等に対する攻撃を敢行しているため、今後、日本国内情勢によっては日本が標的となる可能性も排除できないことから、注意が必要。

２ 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- （１）観光地であるアクロポリス周辺及びメトロ内では、昼夜を問わず観光客を狙った各種窃盗事件が発生しており、特にすりが多発しているため注意が必要。店舗や住居を狙った持凶器強盗事件も発生している。
- （２）国家警察が発表した２０１８年上半期の犯罪発生件数（未遂犯を含む）は以下のとおり。

殺人	１１１件（対前年同期比	－９件）
強盗	２，３１０件（同	－２１４件）
強姦	９０件（同	－７件）
侵入窃盗等	３９，５０６件（同	－１７２件）
自動車盗	１２，１６７件（同	－２，０３９件）

（３）邦人被害事案（一部手口を抜粋）

- ア 被害者が、アテネ市内の地下鉄駅で下車しようとしたところ、複数人から囲まれ、ズボンの前ポケットに入れていた財布等を盗まれた。
- イ 被害者が、アテネ市内において鉄道に乗車していたところ、荷物置場に置いていたバックパックを通行人に落とされたため、それを戻そうと席を離れた隙に、席に置いていた鞆を盗まれた。
- ウ 被害者が、アテネ市内のシンタグマ広場付近を歩行中、知らない男からファンデーションのような液体をかけられ、それを拭いている隙に財布、旅券等の入ったリュックを盗まれた。
- エ 被害者が、アテネ市内の駅付近に車両を駐車しようとしたところ、２人組から話しかけられ、気を取られている隙に、もう一人の男が車両助手席に置いていた

リュックサックを盗まれた。

オ 被害者２名が、テサロニキ市内のバス停に座っていたところ、隣から話しかけられて対応した隙に、背後から鞆を盗まれた。

カ 被害者が、車両から荷下ろしをしている間に、運転席下に置いてあったリュックサックを盗まれた。

キ 被害者が、アテネ市内のトロリーバスに乗車して移動中、ショルダーバッグに入れていた財布と旅券を盗まれた。

ク 被害者が、アテネ市内のホテルの玄関先で傘をたたんでいたところ、たすき掛けしていた鞆のバックルを外され、財布、旅券等の入った鞆を盗まれた。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 12月17日午前2時30分ころ、アテネ市近郊の沿岸地域ネオ・ファリロ地区所在のテレビ局前で大規模な爆発があった。この爆発により、社屋ビルは大きな損害を受けたが、事前にあった爆破予告のため社員は建物外に退避しており、負傷者等はいなかった。当地アナキストグループ「人民戦士団」が犯行声明を発出した。

(2) 12月27日午前7時ころ、アテネ市コロナキ地区所在のアギオアス・ディオニシオス教会の玄関に設置されていた爆弾が爆発した。通報を受けて駆けつけた警察官が箱を調べていた際に爆発し、警察官1名が負傷し、管理人1名も軽傷を負った。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

邦人等に対する金銭目的による誘拐事件及び脅迫事件は把握していない。

5 日本企業の安全に関する諸問題

特に問題なし。